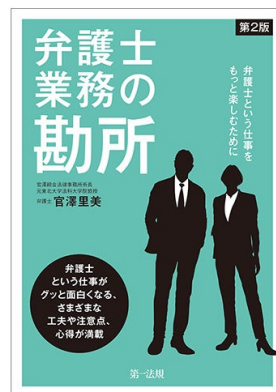


## 【新刊書籍】『弁護士業務の勘所～弁護士という仕事をもっと楽しむために～＜第2版＞』発刊！

ベテラン弁護士の著者が、業務における不安を解消します！本書で弁護士業務の勘所をつかみ、弁護士という仕事をもっと楽しみましょう！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）が、『弁護士業務の勘所～弁護士という仕事をもっと楽しむために～＜第2版＞』を、2023年12月27日に発売しました。



商品紹介ページはこちら

[https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104808.html?utm\\_source=prtmes](https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104808.html?utm_source=prtmes)

amazonでの購入はこちら

<https://amzn.asia/d/1LTPGVn>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17717099/>

弁護士の仕事そのものに不安を感じている、若手弁護士の皆様。

弁護士経験約40年の著者が、温かく寄り添い熱いエールを送ります！

裁判所を味方にするための心がけや、事務所経営に伴うファンの増やし方等、弁護士業務の「勘所」が満載の1冊です。

待望の改訂版である本書では、裁判手続のIT化やリモートワークの導入等、新しいトピックを追加し、内容を充実させました。

本書で業務と経営の「勘所」をつかみ、弁護士業務をより楽しみましょう！

## 第5 依頼者を納得させる和解のテクニック

### 1 和解案は自分で作ろう

和解案は、自分で作成することをおすすめします。特に若手のうちは、裁判所や先方から出た案に即時の判断は難しいですが、自分で作成すれば勉強にもなるし、依頼者に都合のよい文言や納得しやすい文言を使えるなど、自分のペースで進められます。条項案を作成する際は、入手が困難なのですが、裁判所が基本書としている『書記官事務を中心とした和解条項に関する実証的研究（補訂版）』（裁判所職員総合研修所監修、平成22年、法曹会）が参考になります。

不動産が絡んだ事件の案を作成した場合は、登記手続に支障がないかを司法書士に、予期せぬ課税が生じないかを税理士に、事前に見てもらっておくと事後のトラブルを防げます。

そして、作成した案は、依頼者の了解を得たうえで、サンプル5のような書面で期日前に裁判所と先方に送ります。そうすると、事前に検討してもらって解決が早くなります。

先方だけでなく裁判所にも送るのは、裁判所に進行状況をわかってもらえる、書記官に事前に和解条項の細部を検討してもらえる、自分が解決に向けて努力していることの裁判所へのアピールにもなるなど、種々有益だからです。

### ■サンプル5 和解についての御連絡

令和5年（ワ）第123号事件（裁判12月25日）  
原告 株式会社A  
被告 青木太郎 氏

和解についての御連絡  
令和5年12月20日

住所 地方裁判所 第三民事部 調中  
被告代理人 佐藤 甲 先生  
原告代理人 菅 藤 先生

前記事件について、被告主訴に基づいた場合の損害の金額の合計は、原告の12月20日付計算書のおり金332万6000円とします。  
原告は、被告主訴の不具合については未だし工事を待っており、同金額を差し引かれる理由はないと考えているが、早期解決のため交渉することとし、原告の計算書に原告側減額約100万円の範囲のアップへの理解を込め、双方の必要部分調整の範囲で原告側金24万3000円を和解金として差し引くこととする。また、

そこで、下記のとおり和解の条件を提示したので御検討ください。

記

- 1 被告は、原告に対し、本件工事の概ね500万円の支払義務を負っていることを認める。
- 2 原告と被告は、原告が和解金として金24万3000円を負担することで本件事件を解決することに合意する。
- 3 被告は、原告に対し、1から2を差し引いた金47万57000円を令和6年1月16日限り原告指定の口座に送金して支払う。

以上

**ちよつと一言**

隣接士業とのネットワークの大切さ

司法書士、土地家屋調査士、税理士、不動産鑑定士などの隣接士業と知り合いになってネットワークを構築しておくことは、弁護士にとってとても大切なこととなってきています。

和解や調停の際にその条項で問題が生じないか気軽に聞けるだけでなく、相談された事案についてフワッと答えてくれるアドバイザーが可能となり、依頼者に喜んでもらえることとなります。

隣接士業のネットワークには、互いに気軽に相談できる、そして互いに依頼者を紹介しあえるメリットもあるのです。

### 2 依頼者納得のうえでの和解成立のポイント

訴訟の進行状況などからして裁判所から提案されている和解案に応じた方が依頼者のためになると思うのだが依頼者が納得してくれない。どのようにすれば依頼者を納得させることができるのでしょうか？との質問を受けることがあります。

しかし、「100万円は取れるでしょう」との甘い見通しで訴訟を提起し、その後の経過報告のないうまま数ヶ月が経ってから、突然「300万円での和解しろ。」と言われたのでは、依頼者が納得できないのは当たり前です。

依頼者が納得したうえで和解を成立させるポイントは、それまでの経過が大切なのであり、次のような点に気をつけるとよいです。

- (1) **見通しは厳しめくらいがちょうどよい**  
まず、提訴前の見通しの説明では、絶対勝ちますなどの有利な結果の掛け合いは弁護士職務基本規程第29条2項に反しますので絶対行っ

てはいけません。見通しは、先方からどのような反論や証拠が出てくるかわかりませんし、少し厳しめがちょうどよいのです。

厳しめの見通しを説明しておけば、厳しめの結果となった場合でも、説明どおりなので依頼者から大きな不満を持たれることはなく、また、普通の結果となった場合は、説明より良い結果になったわけで依頼者からは「先生のおかげです」と喜んでくれます。

**ちよつと一言**

良い解決のための勘所…ゴールとルートを常に念頭に！

依頼者から受任する際は、その時点で得られた情報に基づき、ゴール（最終的な解決、落とし所）とルート（方法）を検討し、その見通しを依頼者に説明しますが、先方の出方、主張・立証によってはその見通しが変わることがあります。そのような際は、依頼者にとって良いゴール・ルートは何か、納得を得られるルートは何かを随時検討・修正することが早く良い解決を得るために大切となってきます。ゴールを変える際は、納得のために少し時間をかけたルートにした方がよい場合もあります。

ゴールとルートをしっかりと意識せずに手続を進めるのは、登山中に迷子になった際にもくもく歩き進むようなもので、遭難の恐れさえあります。

常にゴールとルートを念頭に置き、必要に応じて随時軌道修正していくことが、依頼者を納得させる良いゴールに導くための勘所です。

- (2) **まめな経過報告・打合せを欠かさない**  
提訴後に先方から反論が出てくるなどしたら書面で経過報告をまめにし、必要に応じて対策や方針の打合せを行うと、自分に不利な証

## 【本書の特徴】

1. 「裁判関連」と「経営関連」との2部構成！
2. 若手弁護士が注意したいミス、裁判をより有利に進めるためのポイント、依頼者とのコミュニケーション方法、業務の効率的な進め方等の“勘所”が満載！
3. 第2版では、裁判手続のIT化やリモートワークの導入等、新しいトピックを追加！

## 【目次（抜粋）】

## 第1部 裁判関連の勘所

- 第1 裁判所を味方にする民事弁護の心がけ
- 第2 裁判所から好印象を得る書面作成のポイント
- 第3 センスが光る書証の提出
- 第4 法廷をホームグラウンド化する争点整理への対応
- 第5 依頼者を納得させる和解のテクニック
- 第6 裁判所に受ける尋問の準備とコツ
- 第7 反対尋問で勝訴～私の具体的実践例
- 第8 刑事情状弁護の勘所
- 第9 これで安心「刑事公判手続メモ」

## 第2部 経営関連の勘所

- 第10 事務所の経営とファンの増やし方
- 第11 電話対応の勘所～良い対応は電話に始まる！
- 第12 来所者対応の勘所～このひととき、私はあなただけのもの！
- 第13 相談申込者の「ファン化」～微差力で勝負！
- 第14 受任時の勘所～『見通しは、厳しめぐらいがちょうどいい』
- 第15 事件継続中の勘所～『まめな連絡、トラブル防止！』
- 第16 終了時の勘所～『何事も、大切なのは別れ方！』
- 第17 仕事・経営のために大切なこと
- 第18 共同事務所のメリットとその最大化～1+1を3にするために
- 第19 業務の効率化と時間の作り方～限られた時間を有効に使うために
- 第20 備えあれば憂いなし～各種リスク対策とIT化対応
- 第21 弁護士という仕事を楽しくしていくために

### 【商品概要】

『弁護士業務の勘所 ～弁護士という仕事をもっと楽しむために～<第2版>』

官澤里美【著】

定価：3,190円(本体：2,900円＋税10%)

頁数：232頁

版型：A5判

商品紹介ページはこちら

[https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104808.html?utm\\_source=prtimes](https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104808.html?utm_source=prtimes)

amazonでの購入はこちら

<https://amzn.asia/d/1LTPGvn>

楽天での購入はこちら

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17717099/>

発売元：第一法規株式会社

<https://www.daiichihoki.co.jp>

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000631.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/59164](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164)

---

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

第一法規株式会社

販売促進第一部

lawyer\_support@daiichihoki.com